

保護者 様

南の丘学園袋井市立袋井南中学校長 小嶋 久典

全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

秋晴の候、日頃、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき深く感謝申し上げます。さて、4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

つきましては、全国と県・市と本校の状況を比較した調査結果を御確認ください。

なお、生徒には個人票を生徒一人一人に配付します。個々の学習状況や課題を踏まえて、今後の参考にしていただけますようお願いいたします。

本校では、生徒一人一人の学習の状況を確認し、個に応じた指導や支援を行い、授業改善に一層努めます。皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

1 学力調査の概況

	国語（15問）	数学（15問）	英語（17問）
本校	◎	◎	◎
袋井市	△	○	▲
静岡県	○	○	○

※全国の平均正答率と比較して（◎：大変高い ○：高い △：同程度 ▲：低い）

2 各教科の分析と今後の取組

教科	各教科の分析結果	今後の授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○全体として正答率が高かった。特に情報に合わせて効果的に内容を理解したり、要旨を把握したりできていた。 ○文章構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして書くことに関する問題の正答率が高かった。 	<p>▲漢字を正しく書く問いや語彙の知識に関する問い、表現の効果を解釈する問いの正答率がやや低かった。（知識・技能）</p> <p>⇒AIドリルなどを効果的に活用することで一人一人の状況に応じて、言語に関する知識や技能の確実な定着を工夫します。</p>
数学	<ul style="list-style-type: none"> ○全体として正答率が高かった。特に図形やデータ活用の正答率が高かった。 ○四分位範囲の意味や証明の根拠となる合同条件等の理解など、知識・技能に関する問題の正答率が高かった。 	<p>▲合同な2つの三角形と平行線の性質を基に図形を考察する問いの正答率がやや低かった。（思考・判断・表現）</p> <p>⇒論理的な思考力や表現力を高めるため、ある事柄が成り立つ理由を説明する際に、対象となる事柄を明確にした上で、その根拠を指摘する学習を工夫します。</p>
英語	<ul style="list-style-type: none"> ○全体として正答率が高かった。特に「書くこと」の正答率が高かった。 ○日常的な話題について、未来表現を使った文を書いたり、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書いたりする問題の正答率が高かった。 	<p>▲ロボットなどの社会的な話題について書かれた文章の要点を捉える問題の正答率がやや低かった。（思考・判断・表現）</p> <p>⇒読むことと書くことを関連させながら、社会的な話題に関する説明や写真等を参考に、要点を把握する活動、自分の考えを表現する活動を工夫します。</p>

3 学習状況調査の状況（肯定評価の合計 当てはまる+やや当てはまるなど）

全国平均と比べて肯定率が高かった主な項目	本校	全国比
1・2年の授業でICT機器をどの程度使用しましたか。	83.9%	+22.8%
1・2年の授業で、各教科で学んだこと生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	79.2%	+10.1%
今、住んでいる地域の行事に参加していますか。	54.4%	+16.4%
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	73.5%	+9.6%
自分には良いところがあると思いますか。	85.2%	+5.2%
朝食を毎日食べていますか	82.6%	+4.0%

全国平均と比べて肯定率が低かった主な項目	本校	全国比
英語の勉強は好きですか。	42.2%	-9.7%
友達関係に、満足していますか。	79.2%	-9.5%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	87.2%	-8.3%
人が困っているときは、進んで助けていますか	81.2%	-6.9%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	80.5%	-6.3%

4 学力・学習状況調査の全体考察と今後の取組

教科の学力については、国や県、市内の他の中学校と比較して、国語・数学・英語のどの教科においても、平均正答率が高いという、例年と同様の結果になりました。

これも、本学園が幼児教育・小学校から継続して、幼児・児童・生徒一人一人の主体性を大切にして、学習意欲を高めてきた成果だと考えます。また、その基盤となる本学園内の各家庭や地域の温かなサポートに支えられているところも大きいと考えます。

学習状況については、ICTの活用や探究的な学習の実感が高いこと、地域の行事に参加する中で地域や社会に役立ちたいという社会貢献の意欲も高まっていることが分かりました。一方で、「いじめは理由を問わず絶対にいけないことだ」「人が困っているときは進んで助ける」といった規範意識や他者意識にやや課題があることが分かりました。

今年度、本学園では「楽しさ」をキーワードとして、様々な学習活動や体験活動に取り組む中で、児童や生徒たちが他者と関わりながら、互いの夢や目標について意見を交換したり、自ら選択・決定したりする機会を多く設定しています。また、振り返りの場面を授業の中に必ず設定して、子供たちが学んだことを実感できるよう工夫しています。

教職員は、今後も様々な場面を通じて、「4つの承認（存在・意欲・行動・成果）」を意識して、生徒一人一人の挑戦を積極的にサポートしていきます。

各家庭におかれましても、生徒に配付した個人票を基にして、学力や学習状況を親子で確かめ、今後の授業や家庭学習への取組の改善、お子様のよさや生活習慣上の課題点、将来の夢やキャリアデザイン等について、話し合ってくださいますようお願いいたします。

担当 教務主任（高橋）
電話 42-3161